

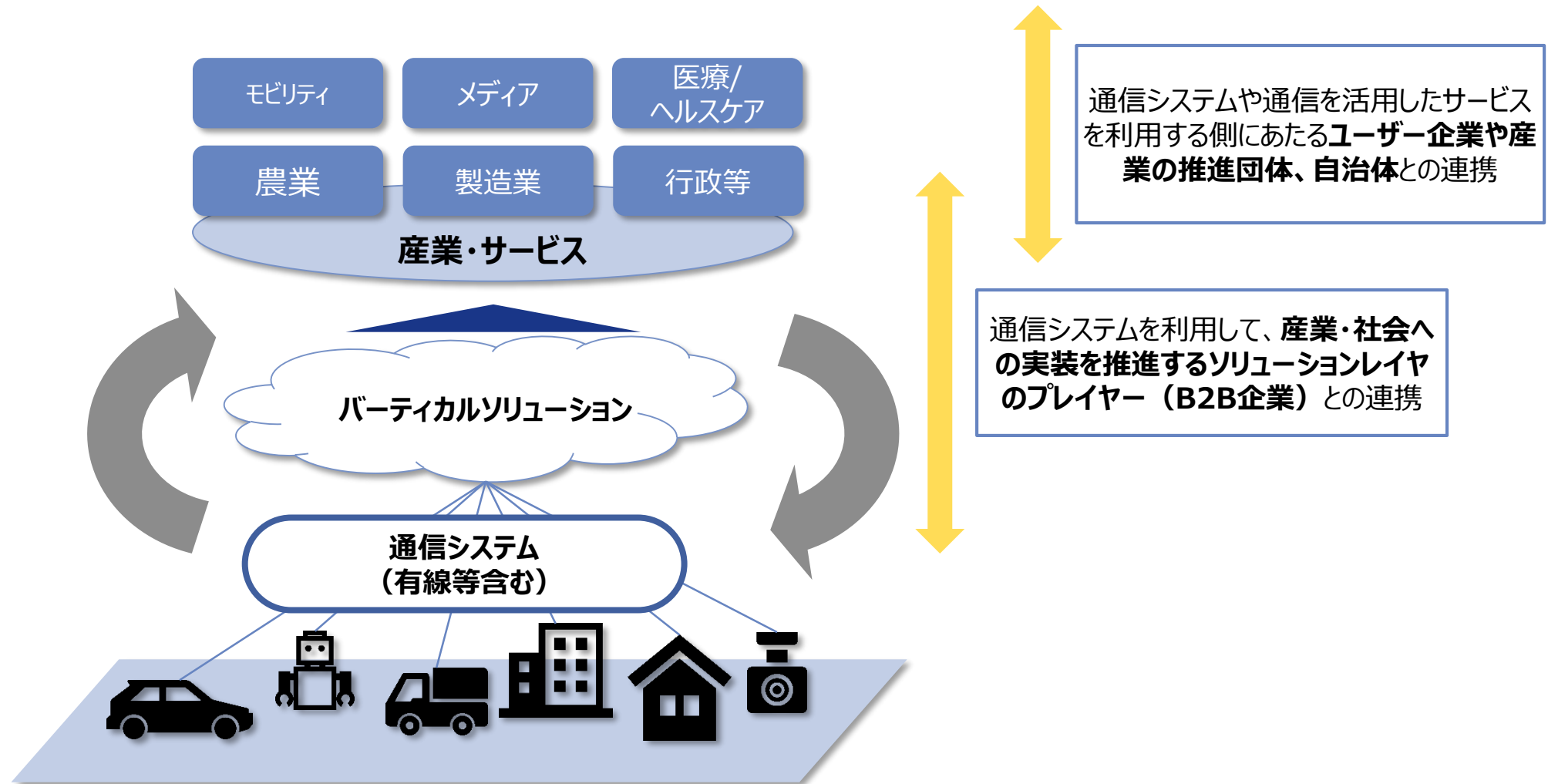


Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会

WAKUWAKU2030

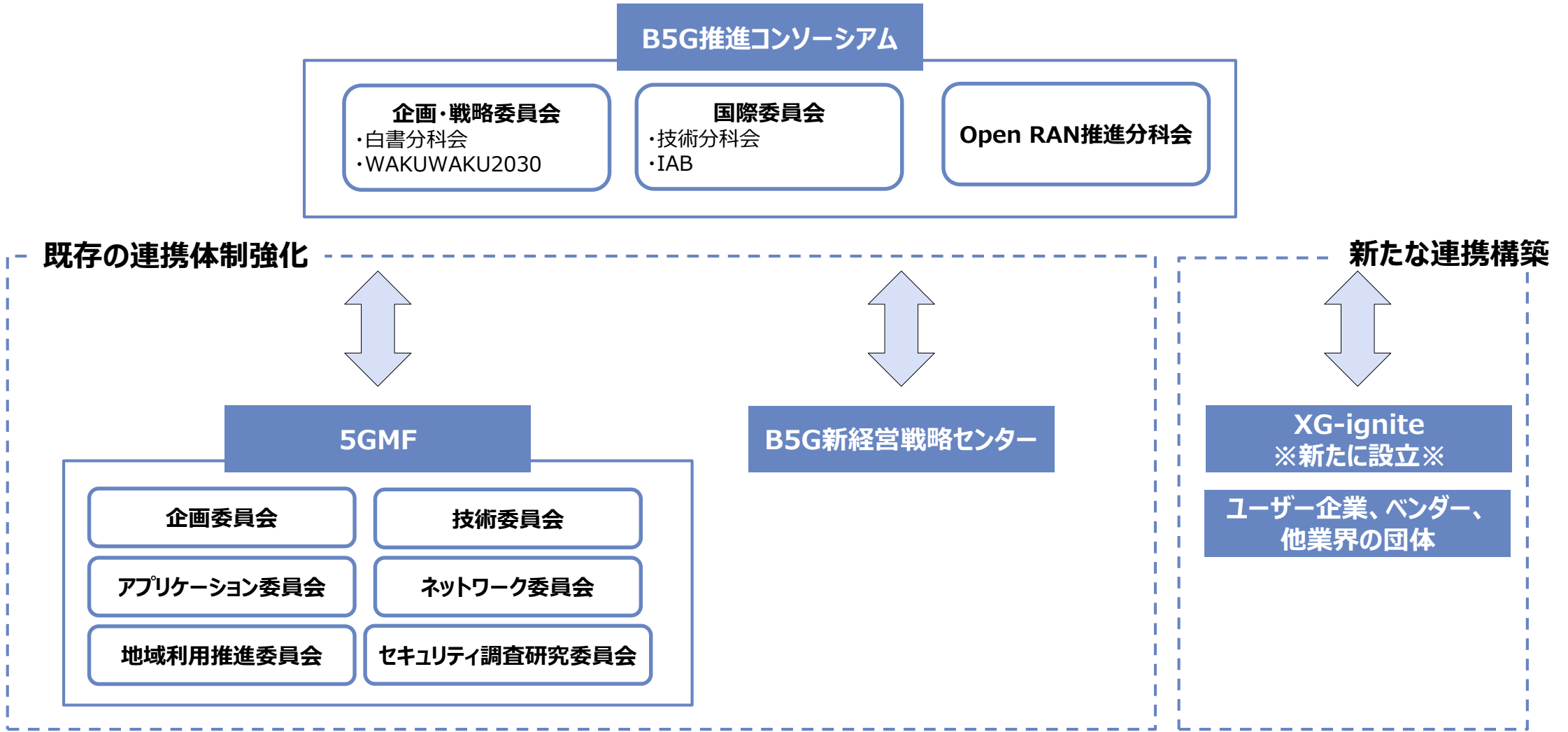
Beyond5G推進コンソーシアム事務局
(NTTデータ経営研究所)

- 最終的な利用者にあたる**ユーザーサイド**や通信を機能として活用し、産業向けにサービスやソリューションを展開する**B2Bのプレイヤーとの連携を推進**することで、B5Gの実装の加速化につなげる





- 既存の連携体制強化を行うとともに、**新たな連携、特に産業分野を中心とした企業や団体との連携を促進**することで、コンソーシアムの推進体制を強化する



- 長期的なB5GP推進コンソーシアムの強固な体制基盤の構築を目標として、それらの検討に資するユーザーサイドやサービスサイドの通信システムに対するニーズや課題、コンソーシアムに期待する役割や広くICT・DX導入の支援策等を把握する

ワークショップ	テーマ・議論内容	招聘者候補（仮）
第1回 10月中旬頃 開催予定	DX・ICTの導入支援、プロデュースについて、事業の実態や課題感 <ul style="list-style-type: none"> • その中で直面するユーザーの悩みごとや導入が進まない障壁等 • 求められる支援策やユーザーへのアプローチ方法 	<ul style="list-style-type: none"> • 株式会社インフォシティ • 株式会社ビットメディア • TIS 株式会社 • 東京都立産業技術研究センター • 一般社団法人 Govtech協会
第2回 11月頃	各業界におけるDX・ICT導入促進のトレンドや通信の使いどころ、ニーズや課題等 <ul style="list-style-type: none"> • 業界において特に注力しているDXに関連するテーマやトピックス • 通信システムに対する認識やサービス上での位置づけ • 通信側の機能的な面での期待値やギャップ 	<ul style="list-style-type: none"> • モビリティ（自動運転、MaaS） • 製造業（機械、ファクトリーオートメーション） • エンタメ（メタバース、AR/VR） • 農業（スマート農業） • 医療・ヘルスケア（遠隔医療、医療ロボット） • 行政（スマートシティ） <p>※各回とも、複数の分野の方をお呼びし、それぞれの分野の視点でのニーズや課題等についてディスカッションを行う</p>
第3回 1月頃		
第4回 2月頃	次年度以降のコンソーシアム体制や取り組み活動 <ul style="list-style-type: none"> • コンソーシアムとして担うべき役割や機能 • 5GMF、XG-Igniteとの連携を行うことで可能となる取り組みや実行に向けた短期的な活動 	<ul style="list-style-type: none"> • 5GMF • XG-Ignite

【課題設定・背景】

- 産業会や社会に対して、多大な効影響をもたらすものとして期待される中リリースされた5Gであるが、「これぞ5G」といったキラーコンテンツが創出しきれていないのが現状である。
 - 通信キャリアによるオープンイノベーションプログラムや政府の実証事業等も行われているが、**事業化に至るまで、高いハードルがあり、事業化の事例も少ない。**
- ユーザー・サービスサイドの**通信に対する理解・認識**や通信側から見たときの**産業やサービスでの通信の位置づけ・使われ方**等に関して、ギャップが存在しているものと思料。
 - 次世代通信規格の導入の必要性や費用対効果（例：WiFiとL5Gの違いや導入のメリット、既存通信システムでの必要十分性等）等

【アウトプット目標】

- **ユーザー・サービス・通信サイドが共創的にビジネスを創出していくために求められる方策**
- **必要となる支援やコンソーシアムとしての役割・機能**

【主な論点】

- ユーザー・サービスの通信システムに対する**理解や期待を踏まえた、通信サイドとのギャップの有無**
- ユーザー・サービス・通信側企業の3者が連携し、**共創を進めていくためにそれぞれが実施していくべき取り組みや外部からの支援やその機能等**
- 実証実験から事業化へ**ブレイクスルー**していくための方策や現状の課題

【進め方】

- ユーザー（自治体、企業等）・サービス・通信それぞれのプレイヤーからDX、ICT、通信インフラ整備等に関する取り組みや検討事例の紹介
- 論点を踏まえ、各プレイヤーの目線で取り組みの実現・推進していくための方策について意見交換

- 米国で道路インフラ維持管理サービスを手掛ける日系スタートアップ企業の取り組みについてインタビューを実施

i-Probe Inc. : 自動車の車両情報を活用した「新たな道路維持管理」に向けたアメリカでの取組み（9/6公開）

<https://wakuwaku.b5g.jp/interview/582/>



i-Probe Inc.
COO & CTO

大島大輔さん

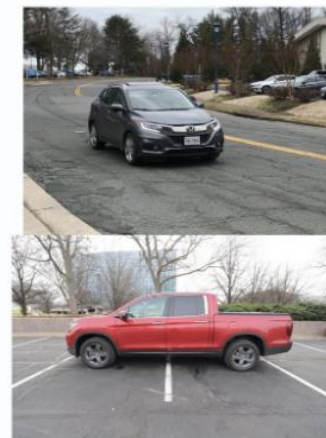
取組みの概要について

事務局：車両情報の活用は、自動運転の実現等、日本においても様々な用途での検討が進められているところであり、非常に先進的な領域と考えています。まずは、取り組まれている事業・サービスの概要や特徴についてお聞かせください。

大島：近年、コネクテッドカーの普及が進んでいます。自動車には、様々なセンサーが付いており、これらのセンサーから取得した情報を処理することで、車は安全、快適に走行できるように制御されています。また、コネクテッドカーでは、自動車がインターネットに接続されることで、常時、自動車のセンサー等で取得した情報が集まってくるという時代になっています。

自動車がセンサーで取得する情報には、「自車の周囲の走行環境についてのデータ」も含まれています。自動車は「道路」に接しながら走行しているため、それらのデータを上手く活用することで、「道路インフラの維持管理」に役立つのではないかと考え、2019年にi-Probe社をアメリカで設立しました。

現在、コネクテッドカーから日常的に集まってくるデータを解析し、有効な情報を抽出して、道路管理者の道路維持管理を効率化するようなソリューションの実現をめざしているところです。



サービスにおける「通信システム」の位置づけについて

事務局：サービスにおける「通信システム」に対するニーズ等について教えてください。

大島：i-Probe自体は、直接的に車からデータを収集しているわけではなく、自動車メーカーが自動車から取得したデータを活用している形となります。一般的に、自動車メーカーが取得しているのは、センサーから収集し、処理した数値のデータとなりますが、自動運転技術の導入への期待が高まっていること等を踏まえても、今後は市販車にも標準で高画質のカメラが装備されていくことになるのではないのでしょうか。その場合、将来的に、市販車に搭載されたカメラで撮影した「映像」や「画像」も、道路インフラの維持・管理をはじめ様々な目的で活用できる世界になっていくとすれば、通信の性能やコストといった部分はその実現において重要なポイントの一つになってくるのではないかと、と思っています。

今後も、5Gの活用事例や様々分野でのDX/ICTの先進事例を順次公開していきます！

- **DX/ICTの導入事例をご紹介頂ける事業者様を募集しています。自社の製品・サービスのアピールの場という形も含め、ぜひご活用ください！**

- **DX、ICT導入や実証等の取り組み状況についてのインタビュー・取材**

DX、ICT等の取り組みにかかる先進事例やその構想、通信システムに対する期待などについて、インタビューや現場取材させて頂き、**コンテンツとして対外的な情報発信に活用させていただきます。**（できあがったものは本コンソーシアムのHP上にて公開）

【インタビュー・取材の実施イメージ】

- 実際のサービスが稼働している現場やラボ等にお伺いさせて頂き、**実際の利用シーンやデモ等を撮影**
- プロジェクトのご担当者へ**サービスの概要やアピールポイント、通信システム側に対するご意見等をインタビュー**
- 最終的に**インタビュー映像と実機やサービスの映像を組み合わせ、映像コンテンツを作成**

※撮影に係る機材等は事務局にて準備致します

※撮影場所は、国内であれば、基本的に対応可能です。（離島等の場合は要ご相談）

【スケジュール】

要望に応じて、随時調整（ご要望を頂いて1ヶ月ほどで撮影可能）

ご連絡は、事務局までお願い致します。

Beyond5G推進コンソーシアム事務局（NTTデータ経営研究所）

b5g_nttdiomc_main@nttdata-strategy.com

映像コンテンツ

インタビュー記事

Universe



Sustainable - society



Well - being



2023.03.23
ソフトによる機能可変型のSoCを開発し、Beyond 5Gのアプリやサービスの開発者に提供することで、グローバルな競争力…

政府研究開発やアカデミアに加え、民間企業も大きく動いているBeyond 5G。国内の大手がBeyond 5Gにおけるグローバル競争力強化に向けて協業し、それぞれの役割・得意分野で競争力を出していくことが期待されている…



2023.03.23
あらゆる産業に恩恵を及ぼすBeyond 5G。その主導権を手にする鍵は、未来社会の喚起力。

「5Gは産業に、次の社会を創りだしています。そして、もろもろの社会を創出していくには、今のうちから6G以降の通信規格は競争しなければなりません」。そうNICT（国立研究開発法人情報通信研究機構）のオニ…



2023.03.24
Beyond 5Gでボトルネック化する光アクセス網。そこを画期的なデバイスの開発で限界突破！

5G以降も無線通信の高効率化は終わりを見せず、今まで不可能だった通信サービスが次々と出現していくでしょう。でも、その裏で大きな課題が持ち上がっていました。基地局が受ける熱的なダメージ、基幹ネットワーク…

対談模様や現地取材を通じて、通信システムに対する理解促進やビジネス現場の実態等について映像を制作

5Gやその先のBeyond5Gについて、主に技術的な目線で研究開発の先進事例について情報を発信（テキスト）